担当教員名 中野 光議		M	inami	Kyus	hu Univ	ersit	y	Syllabu	S				
# 日 1	シラバス年度	1			都城キャンパス			開設学科				<b>園芸学科</b>	
# 1 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日	科目名称	博物館実習							授業	形態	実習		
### ### ### ### #### #### #### ##### ####	科目コード	283900	単位数	3単位	配当学年	3		実務経験教	員			0	
接来模要 物能が出身内の保存能ででいます (第4指揮は3年以に対しますが、3年以上実施と行う場所を提及、信物能が決まったらその体の大力を対しております。    日本	担当教員名	中野 光議											
授業の進め方 と方法 の後、事後指導において軽要説明等を行います。その後は名自て実置希望情物館と交流し、受入が決まったらその博物館で実置を行います。 の後、事後指導として実習報要・内容・後差へのアドバイスをとりまとめた発表会を行います。  接続計画 (第1回) 特物館の展示、実置先の博物館の概要と実務内容の研究、実置内容についての事前学習  提集計画 (第2回) 博物館での実習 (1) 博物館業部についての事前学習  提集計画 (第3回) 特物館での実習 (2) 資料の報じませんの名の表別を持ちませんの名の表別を持ちませんの表別を持ちませんの表別を持ちませんの表別を持ちませんの表別を持ちませんの表別を持ちませんの表別を持ちませんの表別を持ちませんの表別を持ちませんの表別を持ちませんの表別を持ちませんの表別を持ちませんの表別を表別を表別を表別を表別を表しませんの表別を表別を表別を表別を表別を表別を表別を表別を表別を表別を表別を表別を表別を表	授業概要	本実習の目的は、 博物館の業務を行うために必要な技能を習得することです。実習は原則として4年次の夏休みの間に、宮崎県内の博物館か出身地の博物館で行います(事前指導は3年次に始まりますが、3年次は実習を行う博物館を探し、博物館が決まったらその博物館の業務内容などを勉強することに費やします)。博物館実習の申し込みは一般に3年次終了時か4年次の初めに行うので、それまでに学芸員の資格取得に必要とされる他の科目の単位をすべて取得しておく必要があります。										その博物	
と方法  の後、事後指導として実習額要・内容・後盤へのアドバイスをとりまとめた発表金を行います。  授業計画 第1回 事前指導 (1) 博物館の見学、美習先の博物館の概要と素務内容の読金、美習内容についての事前学習  授業計画 第2回 事前指導 (2) 博物館実習の心得と実習日誌の書き方についての事前学習  授業計画 第3回 博物館での実習 (1) 博物館業務についての全般的実習  授業計画 第4回 博物館での実習 (2) 資料の構造者よび荷解と等の資料の取り扱いについて  授業計画 第5回 博物館での実習 (3) 政能物解本の作製法  授業計画 第6回 博物館での実習 (4) 地質標本の作製法  授業計画 第7回 博物館での実習 (5) 選集、考古、民格資料の取り扱い  授業計画 第9回 博物館での実習 (6) 資料の登理、分類、保存の方法  授業計画 第9回 博物館での実習 (7) 展示企画申请と展示事業におけるジオラマ、レブリカ、模型などの取り扱い  授業計画 第9回 博物館での実習 (7) 展示企画申请と展示事業におけるジオラマ、レブリカ、模型などの取り扱い	関連する科目	学芸員関連科目											
「第1回]   持物館の見学、実習先の博物館の概要と業務内容の調査、実習内容についての事前学習   授業計画   第2回 事前指導(2)   博物館実習の心得と実習日誌の書き方についての事前学習   授業計画   第3回   博物館での実習(1)   博物館業務についての全般的実習   授業計画   第4回   博物館での実習(2)   資料の梱包および荷解き等の資料の取り扱いについて   授業計画   第5回   博物館での実習(3)   熟維物標本の作製法   授業計画   第6回   博物館での実習(4)   地質構本の作製法   地質構本の作製法   地質構本の作製法   地質構本の作製法   提業計画   第7回   博物館での実習(5)   歴史、考古、民俗資料の取り扱い   授業計画   第2回   博物館での実習(6)   資料の整理、分類、保存の方法   授業計画   第9回   博物館での実習(6)   資料の整理、分類、保存の方法   授業計画   第9回   博物館での実習(7)   景永企画準備と展示事業におけるジオラマ、レブリカ、模型などの取り扱い   授業計画   第9回   博物館での実習(7)   景永企画準備と展示事業におけるジオラマ、レブリカ、模型などの取り扱い										その博物	勿館で実習を行いる	ます。そ	
博物館実習の心得と実習日誌の書き方についての季前学習   授業計画				物館の概要と業	務内容の調査、実	習内容につ	いて	の事前学習					
「「第3回」   博物館来務についての全般的実習   接条計画				誌の書き方につ	いての事前学習								
「第4回   資料の梱包および荷解き等の資料の取り扱いについて   授業計画   第5回   博物館での実習 (3) 動植物標本の作製法   授業計画   第6回   博物館での実習 (4) 地質標本の作製法   授業計画   第7回   博物館での実習 (5)   歴史、考古、民俗資料の取り扱い   歴史、考古、民俗資料の取り扱い   歴史、考古、民俗資料の取り扱い   授業計画   第8回   博物館での実習 (6)   資料の整理、分類、保存の方法   授業計画   第9回   博物館での実習 (7)   展示企画準備と展示事業におけるジオラマ、レプリカ、模型などの取り扱い   授業計画   第1回   博物館での実習 (8)													
「第5回		第4回 博物館で資料の梱包および	での実習(2 が荷解き等の	2) の資料の取り扱	ないについて								
投業計画				3)									
【第7回】       歴史、考古、民俗資料の取り扱い         授業計画 【第8回】       第8回 博物館での実習(6) 資料の整理、分類、保存の方法         授業計画 【第9回】       第9回 博物館での実習(7) 展示企画準備と展示事業におけるジオラマ、レプリカ、模型などの取り扱い         授業計画       第10回 博物館での実習(8)				4)									
【第8回】 資料の整理、分類、保存の方法													
【第9回】 展示企画準備と展示事業におけるジオラマ、レプリカ、模型などの取り扱い 授業計画 第10回 博物館での実習 (8)													
					、レプリカ、模型	となどの取り	扱い						
授業計画 【第11回】 博物館での実習(9) パンプレットの作成や刊行物編集の方法													

授業計画 【第12回】	第12回 博物館での実習 (10) 施設の美化・清掃などの実践
授業計画 【第13回】	第13回 事後指導 (1) 実習日誌を提出し、事後指導の一環としてその内容を検討しあう。
授業計画 【第14回】	第14回 事後指導(2) 実習体験を反省し、博物館の業務についての理解と認識をさらに深める。
授業計画 【第15回】	第15回 事後指導 (3) 来年度の受講者に対して各自の実習体験を発表し、博物館実習を総括する。
授業の到達目標	1. 博物館において実際に諸業務を実践することによって、博物館の業務内容についての実践的な知識を習得し、収蔵品や展示物などを扱うための方法や技術を学びます。【知識・理解の獲得、汎用的技能の育成】 2. 学芸員養成課程の総括として、博物館実習を通して実践的な知識を習得します。【統合的な学習経験と創造的思考力の養成】
学位授与の方針 (DP)との関連	3. 人間力、社会性、国際性の涵養-(2) / 3. 人間力、社会性、国際性の涵養-(3) / 3. 人間力、社会性、国際性の涵養-(4)
授業時間外学習【予習】	事前指導では、実習に当たっての心構え(学芸員の倫理、社会人としてのルール・マナー、文章表現・レポート作成のきまり等)について指導します(2時間以上)。
授業時間外学習【復習】	実習期間中は学んだことをその日のうちに復習し、次の実習日にそなえてください。事後指導では、実習を体験しての反省・自己評価等をもとに、課題解決のための指導を実施します(2時間以上)。
課題に対する フィードバック	希望者に対しては、実習先博物館から送付されてきた指導学芸員の評価表を開示します。
評価方法・基準	博物館での実習において作成した実習日誌40%、実習を指導していただいた学芸員の評価20%、事後指導での発表の内容40%で評価します。
テキスト	なし
参考書	必要に応じて指定します。
備考	なし